

ユニバーサルデザインフォントの使用

教科書本文には、読み間違えにくくわかりやすいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)である、「UD黎ミン」[ヒラギノUD角ゴF] (株式会社モリサワ)を使用しています。本文以外の箇所にも、適切なUDフォントを使用しています。

ヒラギノ UD角ゴF
UD黎ミン

●ルビについて
小学校6年生以上で学習する漢字には、見開きの初出の箇所にルビ(ふりがな)をつけています。また、重要語句には、すべてルビをつけました。ルビの書体にもUDフォントを採用し、小さな文字でも読み取りやすくしています。

●「図版番号」について
図版には番号を付し、授業の際に使いやすくしました。また、本文にも関連する図版番号を添えて、本文と図版を関連させて読み取ること、によりよく理解できるようにしています。

「単元カラー」と時代・世紀のスケール

第2編	古代までの日本と世界
第3編	中世の日本と世界
第4編	近世の日本と世界
第5編 第1・2章	近代の日本と世界
第6編	現代の日本と世界

古代から現代までの各単元(時代)で「単元カラー」を設定し、デザインを統一しています。また、本文ページの右端に時代・世紀のスケールを設け、現在学習している時代や世紀を常に確認できるようにしています。

教科書の軽量化への取り組み

生徒の持ち運びの負担を軽減するために、良質で軽い紙を採用しています。それでいて十分な強度を持ち、裏写りが少なくなるよう工夫しています。また、歴史的分野の学習の構造化と焦点化の観点から、取り扱う事象の精選を図って、現行教科書に比べて12ページ削減し、軽量化につなげました。

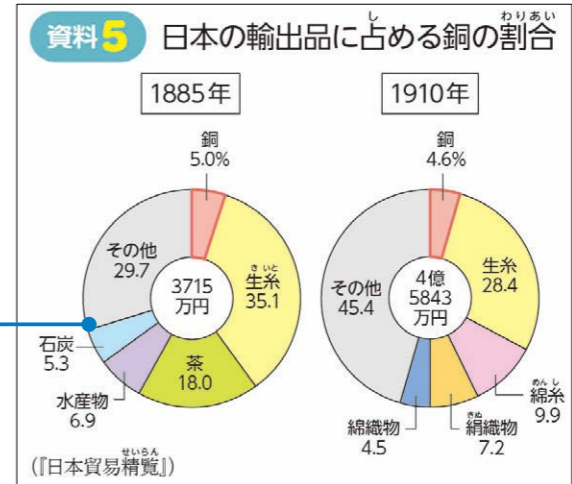


カラーユニバーサルデザインへの対応

特別支援教育やカラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、大内進先生(星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員)に校閲をお願いし、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように配慮しました。

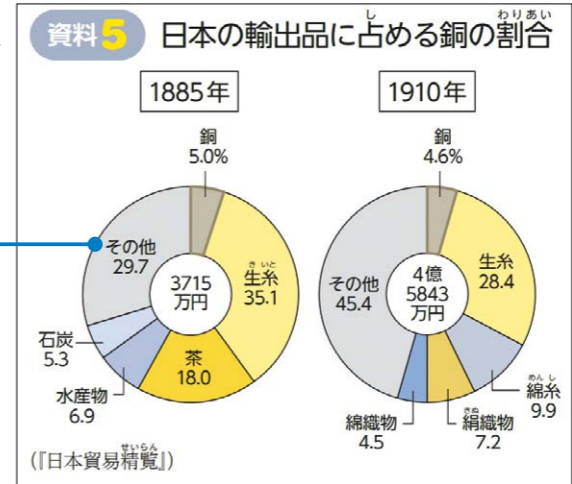
CUDへの対応の例

帯グラフや円グラフは細い黒線で区切り、色に頼らない読み取りを可能にしています。



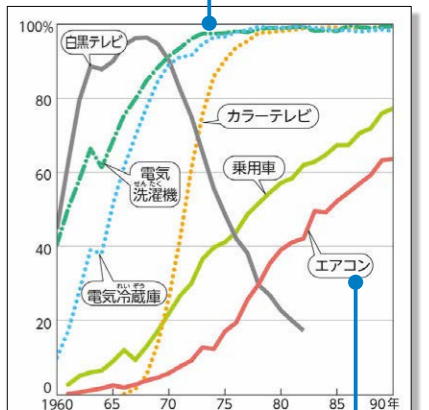
P.211

例: 1(P)型2色覚の方の見え方のシミュレーション



教科書の中で使用している色は、色覚に特性のある人でも判別が可能なよう配慮しています。

折れ線の色だけでなく線種を変更し、違いを明確にしています。



3 家庭電化製品と自動車の普及率(内閣府資料ほか) 1960年代には、電気冷蔵庫や電気

P.276

凡例表示ではなく、折れ線にフキダシをつけています。

学習者用デジタル教科書のご案内

<令和7(2025)年3月発行予定>

学習者用デジタル教科書には、総ルビ表示やリフロー表示、色反転、機械音声読み上げなど生徒一人一人の状況に応じて利用できる様々な機能を搭載しています。

詳しくは本冊子P.44をご覧ください。

拡大教科書のご案内

<令和7(2025)年3月発行予定>

日本文教出版では、すべての小学校・中学校教科書で、拡大教科書を発行しています。拡大教科書は通常の教科書の文字を拡大するとともに、編集意図を損なわないように写真などの図版の配置も再レイアウトしたものです。

22pt/B5判

26pt/A4判